

# “町民の皆様へ” その二

平成三十一年二月吉日

過去二回の当会からの発信に、

町民の皆様より多くの声が本会に寄せられました。

- 一、神谷現美浜町長の公約であった、都市計画税の半減はどうしたのでしょうか？
  - 一、美浜町を夕張の二の舞にしたいと言っていた神谷町長が、このまま運動公園を作り夕張の二の舞を目指しているのでしょうか？運動公園はやめて欲しいです。
  - 一、陸上競技場の新設を推進する神谷町長と、支持者への説明報告もなく新設に賛成した町議会議員は、今後30年にもわたって町民や子ども孫の世代の血税で借金返済をしていくことで、運営が立ちゆかなくなった場合、どう責任を取るのでしょうか？
  - 一、私達が納税している都市計画税が私達の使わない陸上競技場の建設に使われることは全く納得できません。
  - 一、陸上競技場で町が活性化できるとは他市町村の例を考えても甘いとしか考えられません。
  - 一、水害の最も起こりやすい奥田駅前の場所が防災公園とは考えられません。
  - 一、以前より計画のあった第二グラウンドの代替え地としての総合公園での計画を先送りしての陸上競技場の進め方はおかしい。
  - 一、甘い収支計画予想の中での事業着工はあまりにも無謀です。
  - 一、町議会議員のチェック機能の無さにはあきれます。一体何を協議しているのでしょうか？
  - 一、町民の使わない陸上競技場より旧市街地内の道路整備に都市計画税を使って欲しい。
  - 一、去年の十一月に行われた町政懇談会では町の運動公園の答弁は全く納得できませんでした。
  - 一、名古屋市の方からは、瑞穂公園陸上競技場がパロマ瑞穂スタジアム、レインボーホールが日本ガイシスポーツプラザに変わったように、名古屋市でさえも維持管理が大変だという声が届いています。
  - 一、半田市では、二種公認から三種公認に格下げしてもまだなお維持管理が大変だとのことですが、知多市でも、維持管理の大変さから陸上競技場を公認から外すという問題もすでに起こっているそうです。
- 人口2万人となろうとしている本町に50億円を越す予算を費やしてまで推し進めている陸上競技場建設を真剣に考えたいものです。

美浜町民の幸せと将来を考える会

代表 赤瀬 藤 宏 一

事務局 0569-87-0130